

会派研究研修・視察調査報告書

令和2年3月13日

常滑市議会議長
加藤久豊殿

会派名 新政あいち ところなめ
会派の代表者 成田 勝之

会派等研究研修・視察調査を次のとおり報告します。

記

1 期間 令和2年2月12日(水)～2月13日(木)

2 視察先及び研修先

(1) 地方議員研究会

「大変革の時代の自治体病院経営を考える」in 博多
受講講座

1. 国の医療政策と自治体病院
2. 人口減少時代の自治体病院経営
3. あなたの地域の自治体病院の経営を診断する 2020年度版

3 参加者

成田勝之

4 日程 別紙行程表のとおり

※当日の資料は大量におため..
別で保管している。

5 経費について 74,230円

内訳	運賃	22,200円
	受講料	45,000円
	宿泊費	7,030円



常滑市議会 新政あいち とこなめ 研修日程

1. 日 程 令和2年2月12日(水)～13日(木)

2. 研修項目

地方議員研究会 講座内容

- ① 「国の医療政策と自治体病院」
- ② 「人口減少時代の自治体病院経営」
- ③ 「あなたの地域の自治体病院の経営を診断する 2020年度版」

3. 行 程

1日目 2月12日(水)

常滑市役所 — 中部国際空港 — 飛行機 — 福岡空港 — 福岡市交通局 博多駅 — 昼食 — リファレンス駅東ビル「国の医療政策と自治体病院」
8:00 発 SFJ059 便 9:35 着 14:00～16:30

— ホテル

2日目 2月13日(木)

リファレンス駅東ビル 「人口減少時代の自治体病院経営」、「あなたの自治体病院の経営を診断する」 — 福岡市交通局 博多駅 — 福岡空港
10:00～12:30 14:00～16:30

— 飛行機 — 中部国際空港 — — 常滑市役所
18:55 発 SFJ066 20:10 着

宿泊先

東横 INN 博多口駅前2

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-16-6 TEL 092-437-1045 FAX 092-437-1046

新政あいち とこなめ 研修費

2020年2/12~2/13

経費内訳				
運賃		金額	人数	合計金額
航空運賃SFJ	中部⇒福岡	10,840	1	10,840
地下鉄	福岡空港⇒博多駅	260	1	260
地下鉄	博多駅⇒福岡空港	260	1	260
航空運賃SFJ	福岡空港⇒中部国際空港	10,840	1	10,840
合計		22,200		22,200
講座受講料	国の医療政策と自治体病院	15,000	1	15,000
講座受講料	人口厳守叔父台の自治体病院経営	15,000	1	15,000
講座受講料	あなたの地域の自治他病院の経営を診断する 2020年度版	15,000	1	15,000
合計		45,000		45,000
宿泊費	宿泊代	7,030	1	7,030
総合計				74,230

常磐駅から空港までは合計

大変革時代の自治体病院経営を考える in 博多

令和2年2月12日

テーマ：国の医療政策と自治体病院

講師：伊関 友伸 氏

略歴：東京都立大学法学部卒

東大大学院法学科修士課程修了

埼玉県庁入庁

大和町企画財政課長

城西大学経営学部教授

内閣府「公立病院改革の経済・財政措置のあり方等検討会委員」

総務省「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会委員」

場所：リファレンス駅東ビル

福岡市博多区博多駅東1丁目16-14

【講義要旨】

- ・爆発的な高齢者の増加に対し、絶対的に医師、看護師などのマンパワーや入院病床などの医療資源が不足する。
- ・今後の超高齢化社会を見据え介護人材の育成は重要。
- ・自治体は目の前の財政のよい数字を追いかけるのではなく、ある程度健全ならば投資をして雇用を確保し、地域の出生数を上げるべきである。
- ・病院の2極化現象が起きている。
 - ☆医療の高度・専門化に対応した急性期病院
 - ★医療の高度・専門化に対応できない病医院
- ・病院の統合再編は地域に医療を残す一つの選択肢である。
- ・中規模の病院では、中堅や若手の医師は勤務せず医局もなかなか医師を派遣しない。また、看護師も集まりにくく、認定看護師などの資格者もふやしにくい。近隣の中小規模の病院を統合再編して医療の高度化や医師看護師をふやして医療の提供力を充実させることで経営が安定する。
- ・2024年4月からの医師の働き方改革も大きく影

響する。

- ・全国の424の公立・公的病院を再編が必要として厚生労働省が発表したことは問題が多い。(常滑市民病院は含まれていない) 地域事情もあり、自治体病院の統合再編は地方自治の問題である。対象自治体の首長が設置する検討会議での議論が必要。
- ・再編に伴う経営主体の変更により、職員の身分が変わる。(独立行政法人化など) このことに対して反発が大きい。神戸市民病院機構は市職員の身分のまま出向という形を取り、その後は独法において採用した。

【感想及び常滑市への反映】

常滑市は一時ほどではないにしても、財政はよくないが過度に心配をして健全化ばかりに目を向けていると、将来のまちの発展を阻害してしまいかねないと改めて感じた。

そして、将来の超高齢化社会を見据えた対応、必要な投資をしていくべきであり、そこには人材育成も重要な課題である。

半田市立半田病院との経営統合に向けて準備を進めている中で機能分担をしっかりと地域に医療を担っていくことが公立病院としての責務であることを改めて強く感じた。急性期は半田市立半田病院、回復期や高齢者は常滑市民病院が対応するという方向性は間違っていないと感じた。

大変革時代の自治体病院経営を考える in 博多

令和2年2月13日

テーマ：人口減少・地域消滅時代の自治体病院

講師 伊関友伸 氏



【講義要旨】

- ・人口は地域の雇用があるところはふえ、無ければ減少する。
- ・人口増加地域では高齢者が急増し、若い人は横ばい。人口減少地域は若い人が減少し、高齢者は横ばい。
- ・都市部は後期高齢者が急増し医療・介護資源の絶対的不足が予想される。
- ・医療・介護資源の不足に対応するための人材育成は事業者の責務ではなく、行政が考えるべきである。
- ・医療介護の担い手が活躍できる場所を行政はつくるべきである。
- ・医師不足の原因として、劣悪な労働環境や医療の高度・専門化がある。以前は複数の病気を持つ患者を一人の医師が診ていたが、現在はそれぞれの病気に対して一人一人医師が診ている。
- ・国の医療費縮減政策と連動した医師数の抑制の結果、人口当たりの医師数が世界的に見て少ない。
- ・医師不足が顕著なのは産科、小児科、内科、外科であり、救急現場など労働環境の劣悪さは深刻な問題となっている。
- ・医師は都市部に集中している。特に女性医師は

都市部へ行きたがる傾向がある。

- ・今後は看護師や薬剤師の不足も懸念される。
- ・医療介護に関わる人材の育成にしっかりと投資をすることが重要。
- ・人件費を抑えるだけの制度は地域を衰退させてしまう危険性が高い。安易にコスト抑制だけを狙って指定管理者制度を導入することは要注意である。
- ・経営の観点からは、介護施設で体調を崩した患者さんが来て貰えるようにできる限り多くの介護施設を営業で廻る努力が必要であり、地域連携が重要な役目を果たす。
- ・病院が生き残って行くには高度専門に対応できない病院は徹底的に高齢者に対応すべきである。
- ・医者や看護師など医療従事者を集めるには、医師が勤務したくなるように研修機能を充実させる。また、医療スタッフのアメニティを充実させるなど、スタッフの働きやすさを重視する。
- ・医師が勤務したくなるような地域にすることも大切。労働環境や医療技術を学ぶこと、適切な報酬とともに住民の感謝や適切な受診行動を取って貰えるように仕向けていく。

【感想及び常滑市への反映】

医療・介護の人的資源の確保を図ることが将来の地域が生き残っていく上でいかに重要な事かが改めて分かった。また、アメニティを含めて医療スタッフの労働環境の向上も重要課題の一つとして対処していく必要があると強く感じた。

市立半田病院との経営統合に伴う、機能分担、医療連携において、常滑市民病院が高齢者へ対応するという方向性は間違っておらずしっかりと進めて行くべきである。

大変革時代の自治体病院経営を考える in 博多

令和2年2月13日

テーマ：あなたの地域の自治体病院の経営を診断する 2020年版

講師：伊関 友伸 氏

【講義要旨】

現時点における最新版となる総務省の「平成29年度 地方公営企業年鑑」を元データとする講師作成の出席者自治体病院に関する数値を元に説明を受けた。

- ・常滑市の繰入金8億円のうち4条の3.2億円は新築した建物や医療器具等なのでよい。3条の4.8億円は2億円台にできるとよいが、都市部なので若干難しいかもしれない。
- ・経営において一番重要なファクターは手持ち現金。「一時借入金」や「その他長期借入金」があると厳しい。常滑市民病院は、11億の現金を減らさず、企業債の72億円を減らしていくことが重要。繰入金を無理矢理6億円で減らして手持ち現金を減少させることはしてはいけない。

自治体名	病院名	病床数	現金	一時借入金	その他長期借入金	企業債
千葉県柏市	市立柏病院	200(一般200)	1,923,148	0	0	1,134,789
石川県能美市	能美市立病院	135(一般95、療養40)	534,018	0	0	1,230,318
愛知県常滑市	常滑市民病院	287(一般285、感染症2)	1,118,095	0	0	7,283,452
和歌山県海南市	海南医療センター	150(一般150)	63,817	620,000	250,000	2,004,585
香川県さぬき市	さぬき市民病院	179(一般175、感染症2)	574,181	0	0	2,846,414
熊本県山鹿市	山鹿市民医療センター	201(一般197、感染症4)	139,146	0	600,000	3,883,227
宮崎県小林市	小林市民病院	147(一般143、感染症4)	92,411	0	460,000	2,747,861

- ・退職引当金は「看護師の回転が速いためきっちり取り組んでいてもあまり意味がない」
- ・前の講座で触れられていた、医師の給与は平均レベル。時間外も支払っている。(出していないと過去に遡って請求されることがある)
- ・さまざまな加算については常滑市民病院は総じてよくとれている。さらに上積みを狙うなら、

「入院退院加算1」及び小児ケアに係る加算がとれるよう検討するとよい。

【講師からのアドバイス】

- ・病院の魅力を上げるために個室の割合をふやす。また、個室料を取らない。
- ・半田市立半田病院との経営統合に伴い、半田市立半田病院の建設費用は過大な金額にならないように注視していく必要がある。
- ・半田市立半田病院が急性期、常滑市民病院が高齢者対応と機能分担を明確にすることがよい。ただし、高齢者に特化したときに医師が確実に確保できることが必要条件である。

【感想及び常滑市への反映】

今回の講座では出席者の自治体病院に特化した分析であり、わかりやすかった。

常滑市民病院側から常々聞いている、「半田病院との経営統合を見据えて高齢者に特化していく」、「各種加算手当を取っていく」、「特徴ある病院を目指す」といった経営改善へ戦略は、今回の講師の分析やアドバイスと合致している部分が多く、正しい方向性であると感じた。

ただし、方向性は正しくとも、現実問題として直近の深刻な医師不足や医療従事者の労働環境の改善など課題は多い。

前講座にあった、医師が働きたくなる病院にするために地域と病院をつなぐ役目を議会がしていくことも大事であると感じた。

領収書
RECEIPT

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1-16-6

TEL 092-437-1045 FAX 092-437-1046
東横INN博多口駅前II

お名前 新政あいち とこなめ 様					
客室番号 (ROOM No.)	人数 (PERSONS)	ご到着 (ARRIVAL)	ご出発 (DEPARTURE)	備考 (REMARKS)	
0311	1	20.02.12	20.02.13		
日付 (DATE)	摘要 (EXPLANATION)		料金 (CHARGE)	お支払 (PAYMENT)	残高 (BALANCE)
02.12	預り現金 宿泊料		7,030	7,030	0
小計 (SUBTOTAL)			7,030	7,030	
ご署名 SIGNATURE			収入印紙	ご請求額 AMOUNT DUE	0
会社名 FIRM				現金	

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you for your stay with us.
May we have the pleasure of serving you again.

公式HP予約が最安値!! 最大¥400 OFF!!
オンラインカード決済で すいすいチェックイン!!
予約はこちら toyoko-inn.com



内消費税
INNER TAX 639 (税 10%)
C/O-No. 63996-1-01 20/02/13
C/O-CD 16

STARFLYER

常滑市議会
新政あいち とこなめ 様 領 収 書

印紙税申告納
付につき小倉
税務署承認済

¥ 21,680 (税込)
(クレジット支払い ¥21,680含む:三井住友カード)
(消費税10%対象 ¥21,680(税込))

但し、旅客運賃料金として、上記の金額正に領収致しました。
株式会社スターフライヤー

1. 2020年 2月12日 SFJ 59 便 名古屋⇒福岡
2. 2020年 2月13日 SFJ 66 便 福岡⇒名古屋

購入日: 20-01-17 発行所: f1777930
発行日: 20-02-12 端末番号: 84460 *13985

本領収書は再発行不可となります。
TKT: SC0KQ0

領 収 証

新政あいち とこなめ 様 2020年 2月 12日

★ **¥45,000**

但 2/12.13 「大変革の時代の自治体病院経営を考える」
3講座 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297